

# 新潟県立中央病院

## 連携だより

発刊 第29号

発行 平成27年7月7日

発行者 新潟県立中央病院

地域連携センター

### がん相談支援センターの紹介

当院のがん相談支援センターは、院内外のがん患者及びその家族の不安や疑問に適切に対応するため、電話、面談等による、がん患者の療養上の相談、地域の医療機関やセカンドオピニオン医師の紹介等を実施し、地域の医療機関等からの相談等に対応しています。

相談された患者様やご家族より「こんなことで相談してよいかどうか…」とがん相談窓口に来られる方がいます。今後のがん治療や起こり得る症状に向き合えるかどうか。仕事を続けられるのか。治療費はどれくらいかかるのか…。いろんな思いが頭をよぎり、不安を抱え、涙を流される方もいます。そういう時に心の整理を図りながら、問題を解決できるように一緒に考えサポートしていきたい…面談の最後に笑顔で「相談してよかったよ。」と心の支えとなり、療養生活の支えとなれば幸いです。

また、当院では今年度より一人の患者様の治療方針について、主治医が所属する診療科医師だけでなく、関係のある診療科医師、看護師、薬剤師、コメディカル（放射線技師、リハビリ、管理栄養士、医療相談員、臨床心理士等）など、他職種が参加し検討するカンサーボードを行っています。

がん患者様やご家族、そして医療者に「一人ではないこと。みんなと一緒に考え、力になってくれる人がいる」存在を伝えられるように、支援していきたいと考えております。

- 大野正文 日本がん治療認定医
- 樋口伸子 がん看護専門看護師
- 佐藤幸恵 医療ソーシャルワーカー
- 椎谷杏紀子 臨床心理士



# 連携登録医の紹介

## 医療法人社団くろきクリニック 黒木 瑞雄先生

平素より県立中央病院の皆様には当院の小児科、脳神経外科ともに大変お世話になり、御礼申し上げます。私は平成元年から5年まで県立中央病院に勤務しておりました。当時は病院自体が京都大学系から新潟大学に変わりつつある時期で、齋藤秀晁院長はじめ病院スタッフ全員の中興の気運も高く、私にとっても fruitful な時期でした。

さて平成4年に黒木美恵子が小児科医院を、平成5年に私が脳神経外科医院を開業し、平成9年に合併して医療法人社団くろきクリニックに移行しました。現在は医師2名、看護師7名、看護助手3名、臨床放射線技師1名、臨床検査技師2名、医療事務5名の構成です。主な設備はMRI,CT,CR,エコーなどで、MRI,CTの検査結果については、頭部以外は画像診断センターに依頼しております。最近では脳血管障害以外にも認知症の相談が急激に増えており、これからの日本が心配です。実力以上のことは極力やらないようにしていますが、それでもかかりつけ医としての責務があります。患者さんや家族が希望されれば、在宅を含めできるだけことはやっているつもりです。貴院へは重症者以外にも、疾患の精査、診断をお願いすることが多々ありますが、決して断られることもなく本当に感謝しております。最近では種々の連携パスも利用させていただき、当院でも平準化された治療や経過観察が可能となり、患者さんや家族の安心感にも繋がっております。

これからの時代、病診連携、診診連携さらに他の職種との連携を深めていくことが地域医療の発展には必須であり、当院もその流れを見失わないようにしていきたいと考えております。



# 診療科の紹介

## 神経内科

田部 浩行

神経内科スタッフは常勤医 田部浩行（昭和61年新潟大学医学部卒、平成3年新潟大学大学院医学研究科卒）手塚敏行（平成17年新潟大学医学部卒、平成27年新潟大学大学院医学研究科卒） 畠野雄也（平成24年新潟大学医学部卒）です。

神経内科で診療する疾患は神経系（脳、脊髄、末梢神経、筋肉など）に器質的変化があって症状を出している患者さんすべてを診療しています。精神科との違いは、精神科は主に心の病（統合失調症、うつ病、神経症など）を対象としている点、脳神経外科との違いは、脳神経外科は外科系であり脳、脊髄の手術を行う病気（脳腫瘍、くも膜下出血、慢性硬膜下血腫、頭部外傷など）を対象としている点が異なります。しかし頭痛、脳血管障害などは神経内科、脳外科ともに扱うことも多いと思われます。神経内科で診療する症状としては、物忘れがする、頭が痛い、めまいがする、力が入らない（麻痺がある）、手足がしびれる、感覚が鈍い、うまく歩けない、手足がふるえる、けいれんなど神経系に由来すると思われる症状のすべてです。対象疾患としては脳や脊髄の病気としては脳梗塞、脳出血、アルツハイマー病、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症、髄膜炎、多発性硬化症、緊張性頭痛、片頭痛、てんかん、など、末梢神経の病気としては多発性神経炎、神経痛など、筋肉の病気としては多発性筋炎、重症筋無力症、筋ジストロフィー症など、その他として頸椎症、腰椎症などがあります。これら疾患が疑われる際には神経内科にご紹介いただければと思います。また当院は救命救急センターを併設していますから、救急搬送される脳梗塞を中心とした脳血管障害をはじめとして、意識障害、けいれんなどの緊急症、救急疾患は救急外来で診療しております。地域の神経疾患診療に努力していく所存ですので、我々3人をよろしく願いたします。

## 神経内科



畠野 雄也

手塚 俊之

田部 浩行

# 研修のご案内

糖尿病教室をご利用ください。

当院では毎月第一火曜日の13:30～16:00に糖尿病教室を開催しています。医師や看護師、薬剤師、検査技師、理学療法士がわかりやすい講義を行っています。お申し込みは、当院ホームページの「地域連携センター 医療関係者向けページ」から糖尿病教室パンフレットや参加申込書を印刷していただき、FAXでお送りください。4月、8月はお休みです。日程の詳細は糖尿病教室のご案内のページをご覧ください。たくさんのご利用をお待ちしております。

当院ホームページトップ→地域連携センター→医療関係者の皆様  
へ 「連携医による栄養指導の共同利用について」

## 消化器系患者さんのご紹介に際して

このほど内視鏡画像(JPEG)の電子カルテへの取り込みが可能となりました。今までは画像をプリントして送っていただいていたおりましたが、今後は可能な限りで結構ですのでCD-Rでの画像情報の提供をお願いいたく存じます。宜しく願い申し上げます。

新潟県立中央病院

上越市新南町 205 番地

電話：025 - 522 - 7711(代表)

FAX：025 - 524 - 3232